

7月30日（火）は午後からケンブリッジに向かいました。バスで1時間ほどのところにあります。



まず、ケンブリッジの名前の由来になっているケム川に浮かぶゴンドラのような船が目に入ってきました。パントというそうですが、観光客が楽しそうに乗っています。



クイーンズ・カレッジでケム川にかかる「数学橋（マセマティカル・ブリッジ）」。正式名称は「Wooden Bridge（木製の橋）」ですが、橋自体が自分を支える構造になっているということでこう呼ばれているとのこと。



セント・キャサリズ・カレッジ。殉教者カタリナの名前にちなんでいて、校門には彼女のシンボルである車輪があしらわれています。



コーパス・クリスティ・カレッジにあるテイラー図書館の機械時計、コーパスクロック（クロノファージ）。ステイブン・ホーキング博士によって発表されたものです。



キングズカレッジのチャペル。壁の面積と比べて窓の面積が異常に広い建物。大学の創設者はランカスター朝最後の王のヘンリー6世。チャペルが完成したのはヘンリー8世の時代ということで校舎にはヘンリー6世の像とヘンリー8世の像が見えます。

他にも DNA の二重らせん構造を発見したワトソン博士とクリック博士がそれを発表したパブ（大学内とかではなく

行きつけのpubで発表した、というのがすごいですね)、ザ・イーグルやトリニティ・カレッジ、セント・ジョンズ・カレッジ、ラウンドチャーチなどを回って2時間ほどの自由行動に入りました。イギリス国内で買い物をする初めてのチャンスだった人も多く、3人くらいのグループを作ってはぐれないようにあちこちを回って散策を楽しみました。男子チームはスターバックスに入って「日本とちょっと違う！」と驚いていましたよ。



ということで最後はここで案内をしてくれたガレット先生を囲んで記念写真。とてもゆっくり、丁寧に説明してくれてありがとうございました。

(文責 星野真博)